令和５年度（２０２３年度）第４回東海市まちづくり評価委員会

次　　第

日　時：令和５年（２０２３年）７月７日（金）
午前２時から
場　所：市役所３０２会議室（３階）

１　開　会

２　議　題

令和４年度（２０２２年度）のまちづくりに関する評価（施策評価）について

⑴　人づくり・心そだて（８施策）

３　今後の予定

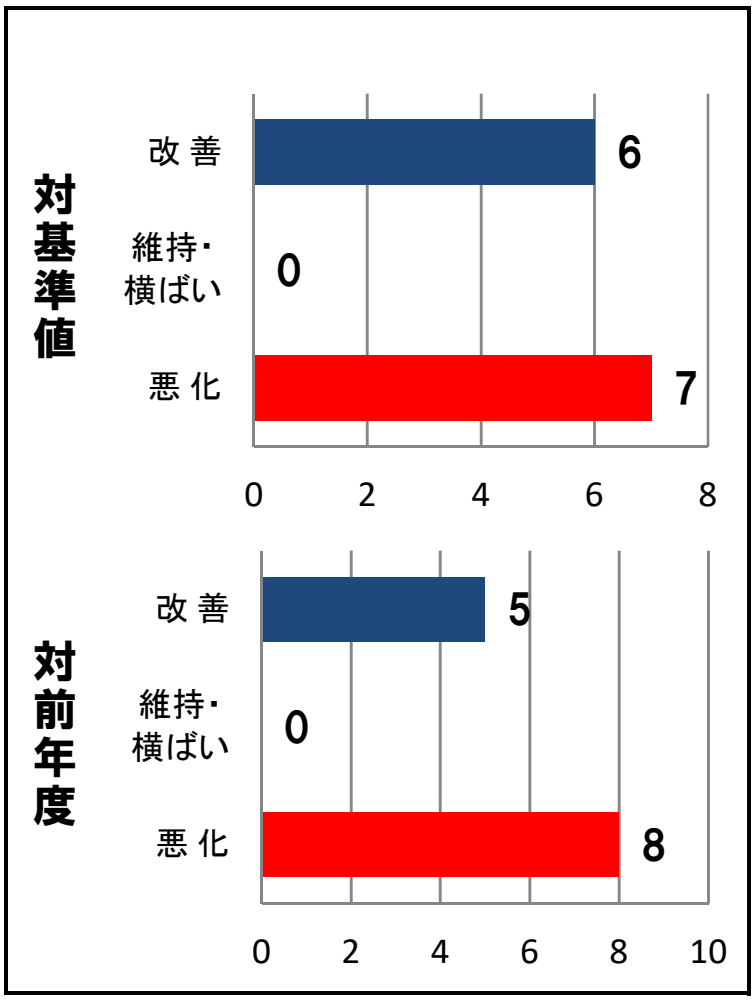
分野別成果動向一覧　第2章「人づくり・心そだて」

≪施策別成果動向一覧≫

節	番号	施策名	成果動向	まちづくり指標の推移						成果指標の推移							
				対基準値			対前年度			対基準値				対前年度			
				改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可	改善	横ばい・維持	悪化	比較不可
学校教育	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	順調でない	1	0	1	0	0	2	2	1	6	0	1	0	8	0
	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	横ばい	1	0	1	2	0	0	3	0	1	0	2	0	2	0
社会教育	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	順調	2	0	0	1	0	1	4	0	0	0	1	0	3	0
	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	順調でない	0	0	1	1	0	0	0	0	3	0	2	0	1	0
	14	楽しみや生きがいを感じるまちをつくる	横ばい	0	0	1	0	0	1	1	0	3	0	3	0	1	0
スポーツ	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	横ばい	1	0	1	1	0	1	3	0	0	0	2	0	1	0
文化	16	文化に親しみ心豊かなまちをつくる	横ばい	0	0	1	0	0	1	2	0	1	0	2	0	1	0
文化財	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	横ばい	1	0	1	0	0	2	1	0	1	0	1	0	1	0

≪まちづくり評価委員会の評価≫

≪まちづくり指標の状況≫



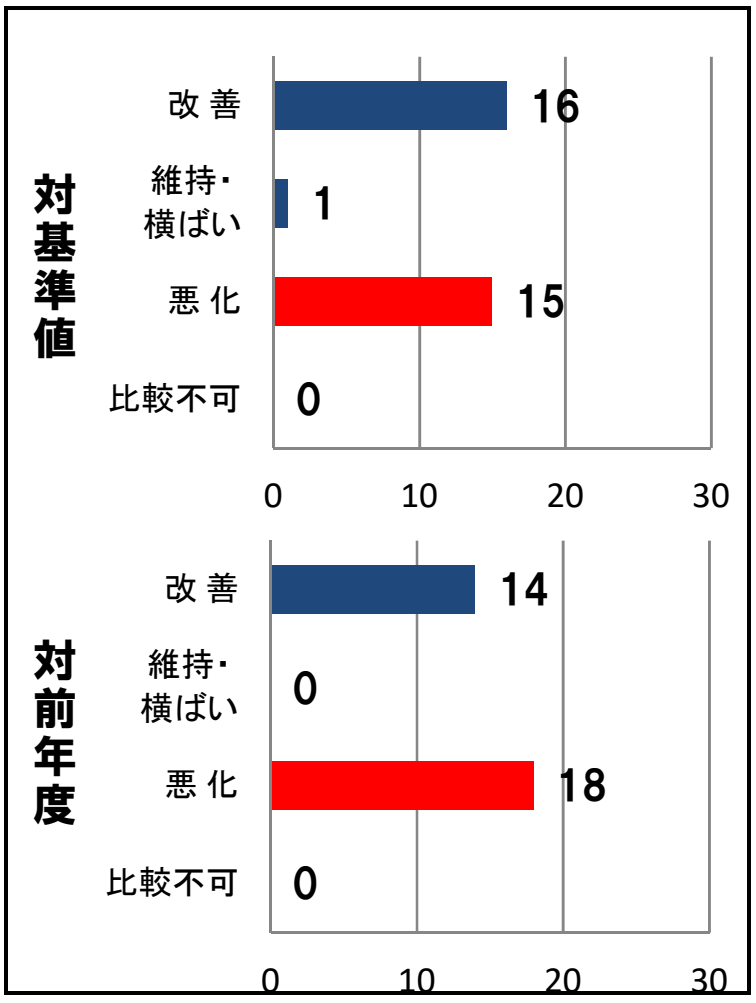
［基準値と比較して改善した主な指標］

0017	子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合
0018	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合
0019	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合
0022	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数
0026	１５歳～３０歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合

［基準値と比較して悪化した主な指標］

0014	不登校の児童生徒の割合
0016	地域の人で学校教育に関わった人の数
0021	生涯学習を行っている人の割合

≪成果指標の状況≫



［基準値と比較して改善した主な指標］

1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数
1221	青少年の犯罪件数
1521	全国大会出場件数
1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数

［基準値と比較して悪化した主な指標］

1052	給食の食べ残しの量
1311	ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合
1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数
1422	１か月間の児童生徒の読書量

≪第2章「人づくり・心そだて」指標の状況≫

【まちづくり指標】「子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合」など、基準値と比較して6指標、分野全体で46.2%が改善した。
　一方、基準値以下となった指標は「不登校の児童生徒の割合」はじめ7指標（53.8%）となった。
【成果指標】「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」はじめ16指標、分野全体で50.0%が基準値より改善した。また、基準値以下となった指標は、15指標（46.9%）で、前年度より悪化した指標は、18指標（56.3%）となった。

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

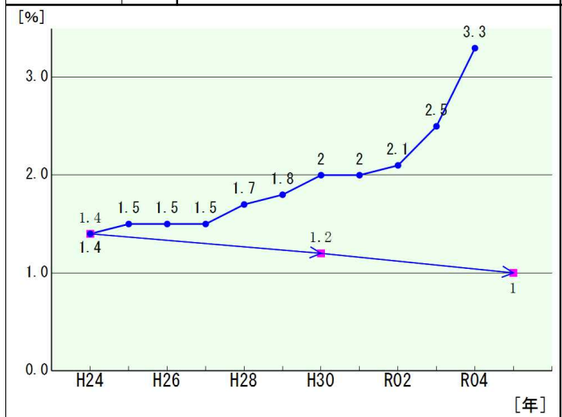
施策 10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	子どもたちにとって学校が楽しく、不登校児童生徒が少ない		
施策主管課	学校教育課		

まちづくり指標

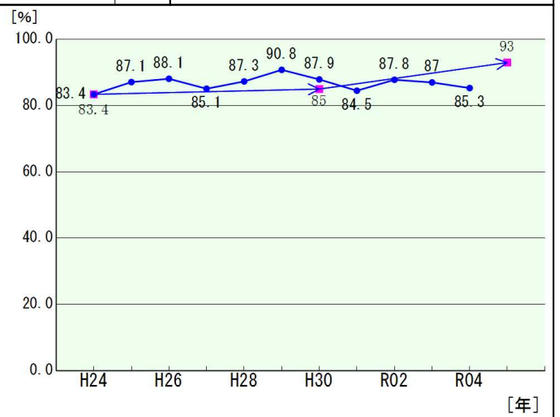
指標	0014	不登校の児童生徒の割合
方向性	↘	



対基準値:1.9ポイント増／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-475.0%
小中学別:差異有
要因:長期に渡るコロナ禍での生活習慣の乱れや不安によるもので増加しているものと考える。

指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化

指標	0015	学校が楽しいと感じている児童生徒の割合
方向性	↗	



対基準値:1.9ポイント増／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:19.8%
小中学別:差異無、学校別:差異有
要因:サポーター等による支援や計画的な施設等修繕により快適で安全な学校生活を送れている。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 悪化

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「不登校の児童生徒の割合」は、基準値及び前年度からともに悪化しており、課題のある児童生徒の背景、ニーズの多様化や、長期に渡るコロナ禍での生活習慣の乱れや不安、中１ギャップが大きかったことが要因と考える。また、「学校が楽しいと感じている児童生徒の割合」は、基準値から横ばいであり、サポーター等による支援や計画的な施設等の修繕により安全な学校生活が送れているものと考える。
引き続き、スクールソーシャルワーカー等と小・中学校が連携し、課題解決に向けた早期支援に努めるとともに、快適で魅力的な学校づくりへの取り組みを進めていく必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	個性と能力が伸びる授業をつくる	横ばい		1011	好きな授業がある児童生徒の割合	悪化	悪化
				1012	学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(8)				
		低下	(0)				
02	いじめ・不登校対策を充実させる	横ばい		1021	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合	横ばい	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(4)				
		低下	(0)				
03	快適で安全な学校生活を充実させる	横ばい		1031	学校でけがをした児童生徒数	改善	悪化
				1032	学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(3)				
		維持 横ばい	(29)				
		低下	(0)				
04	出会いと体験の場を提供する	順調でない		1041	夢や目標を持っている児童生徒の割合	悪化	悪化
				1042	外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(6)				
		低下	(0)				
05	食の大切さと楽しさを理解させる	順調でない		1051	給食が楽しみな児童生徒の割合	悪化	改善
				1052	給食の食べ残しの量	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	個性と能力が伸びる授業をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる		
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1011	好きな授業がある児童生徒の割合				指標番号	1012	学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		90.6	92.4	92.2	90.5	%		79.6	88.6	89.0	87.3
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	8	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	8	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	8	
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「好きな授業がある児童生徒の割合」は基準値から横ばい、「学校の授業がわかりやすいと答えた児童生徒の割合」は基準値を上回っている。これは、教職員のニーズに対応した、少経験者からベテランまで参加する幅広い研修を行い、教職員の資質向上が図られ、授業改善に向けた取組みがされたことにより、児童生徒が「好き、分かりやすい」と実感する授業が推進されたためと考えられる。
今後も児童生徒の学力向上に繋げるため、教職員のニーズや課題を把握し、それに応じた研修を企画し、専門性の高い講師の発掘に努め、教職員全体の指導力向上を図っていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1038	英語が話せる子ども育成事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	3061	ICT支援員派遣事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1022	教員研修センター教育相談事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	1118	研修講座開催事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	1119	教科等研究推進事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	1121	授業力向上事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
7	2608	小学校水泳授業民間施設活用等事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
8	3059	中学校水泳授業民間施設活用等事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	いじめ・不登校対策を充実させる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる		
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1021	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる児童生徒の割合				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		84.0	87.1	87.0	84.0						
指標の推移		対基準値 → 横ばい　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	4	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	4	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	1	なし	3	
次年度方向性	維持	4	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は基準値から横ばいである。その理由としては、スクールソーシャルワーカー、心の相談員やスクールカウンセラーの配置、不登校における自立支援としての適応指導教室など、多方面からいじめ・不登校対策に取り組んでおり、また、コロナ禍には実施できなかった「青空教室」を開催するなど、交流活動を通した成果もあったものと考える。
課題のある児童生徒は増加しており、家庭環境や養育の状況が複雑化するなど、必要な支援が多様化しているため、改善に時間がかかることから、今後も引き続き関係機関と連携し不登校の未然防止・初期対応・自立支援に努める。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1040	スクールカウンセラー派遣事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1042	適応指導教室設置事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1051	学校の居場所づくり事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	2830	不登校対策連携事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	03	快適で安全な学校生活を充実させる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	10	子どもたちにとって楽しい学校をつくる	
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1031	学校でけがをした児童生徒数				指標番号	1032	学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		22,522	13,993	14,063	14,265	%		65.2	63.9	63.9	63.4
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	32	遅延あり	0
成果状況	向上	3	維持・横ばい	29	低下	0
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	32
次年度方向性	維持	28	見直し	0	休廃止	2	完了	2

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「学校でけがをした児童生徒数」は基準値から8,257人減り、順調に改善している。その理由は、サポーター等の配置による支援や計画的な施設等修繕の効果と考える。また、「学校は、安心して学習できる環境が整っていると思う保護者の割合」は基準値から1.8ポイント低下しているものの横ばいであり、サポーター等の支援により安心した学校生活を送れているものと考える。
今後は、施設を安全に維持していくための長寿命化計画の実施や、施設等の老朽化に対する安全対策、外壁改修・非構造部材の耐震化改修などを計画的に実施していく。

成果動向	○順調　●横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1021	教育相談事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1023	全国大会等出場者激励事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1024	特別支援教育対策事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	1025	教育研究推進事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	1027	要保護・準要保護児童生徒支援事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	1028	特別支援教育就学奨励事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
7	1030	新入学児童就学準備事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
8	1032	東海市学校保健会補助事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
9	1039	語学相談員派遣事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
10	1045	特別支援教育支援員設置事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
11	1046	障害児サポート事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
12	1053	読書活動サポート事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
13	3107	教員研修センターネットワーク環境整備事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
14	1058	奨学金支給事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
15	1061	新制度未移行幼稚園運営費補助事業	幼児保育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
16	1075	小学校教科書改訂版購入事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
17	1081	小学校木祖村木材製品購入事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
18	3171	小学校トイレ環境改善事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	休廃止
19	3074	小学校職員室空調機改修事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
20	2513	小学校普通教室転用改修事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
21	2813	名和小学校擁壁等改修事業	学校教育課	予定通り	向上	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

単位施策	03	快適で安全な学校生活を充実させる

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
22	3183	大田小学校防球ネット整備事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
23	1095	小学校修学旅行費補助等事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
24	1096	小学校各種大会出場費補助事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
25	2677	大田小学校校舎増築事業	学校教育課	予定通り	向上	なし	完了
26	3057	中学校屋内運動場空調機設置事業	学校教育課	予定通り	向上	なし	維持
27	3075	中学校職員室空調機改修事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
28	3173	中学校トイレ環境改善事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	休廃止
29	1378	中学校外壁等改修事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
30	1107	中学校非構造部材整備事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
31	1113	中学校修学旅行費補助等事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持
32	1114	中学校各種大会出場費補助事業	学校教育課	予定通り	維持 横ばい	なし	維持

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	04	出会いと体験の場を提供する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる		
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1041	夢や目標を持っている児童生徒の割合				指標番号	1042	外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		79.0	79.0	75.8	70.2	%		60.9	60.8	59.1	59.0
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	6	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	6	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	6	
次年度方向性	維持	5	見直し	0	休廃止	0	完了	1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「夢や目標を持っている児童生徒の割合」は、基準値から8.8ポイント低下しており、また、「外国の生活や文化に興味がある児童生徒の割合」は、基準値から1.9ポイント低下している。その理由としては、新型コロナウイルス感染症により、部活動や学校行事等の活動を縮小・自粛したことで、挑戦する意欲や能力を開発する機会が減少したことや、海外姉妹都市との交流が未実施であったことにより、夢や目標を描くことが難しかったものと考える。
体験事業などにより、未来を担う子どもたちが新たな出会いや実体験を通じて将来の夢や目標につなげることができるよう、今後も「生きる力」を養う教育を推進する必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1034	林間学習事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1035	中学生親善交流事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1044	小学生親善交流事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	1050	キャリアスクールプロジェクト推進事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	1055	沖縄体験学習事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	3288	キャリアコミュニティプロジェクト推進事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	05	食の大切さと楽しさを理解させる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	10 子どもたちにとって楽しい学校をつくる		
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1051	給食が楽しみな児童生徒の割合				指標番号	1052	給食の食べ残しの量			
方向性	↗					方向性	↘				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		30.9	25.7	24.4	27.1	kg/年		12,861	17,234	21,998	22,305
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0	
成果状況	向上	1	維持・横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	3	
次年度方向性	維持	2	見直し	0	休廃止	0	完了 1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「給食が楽しみな児童生徒の割合」は基準値から3.8ポイントの低下、「給食の食べ残しの量」は、基準値から9,444kg増加している。その理由は、新型コロナウイルス感染症の影響による急な欠食や学級閉鎖が増えたこと及び食事時間の減少などにより残食の量が増加し、会話をしない黙食により、給食を楽しみと感じる児童生徒が減少していると考える。
今後は、献立の工夫等、児童生徒にとって魅力のある献立を充実させ、残さず食べることで健康な体になるなどの食育指導を行い、児童生徒の給食への興味、食べる意欲を高めることで、食べ残しの量を減らす取り組みを実施していく必要がある。

成果動向	○順調　○横ばい　●順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1125	厨房備品購入事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1127	学校給食調理事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	2817	加木屋調理場外壁等改修事業	学校教育課	予定通り	向上	なし	完了

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

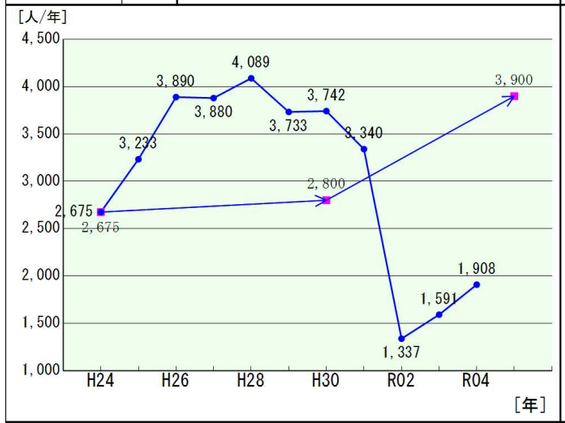
施策 11 学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
めざすまちの姿	子どもの健全な成長に対して、学校、家庭、地域などが連携している		
施策主管課	学校教育課		

まちづくり指標

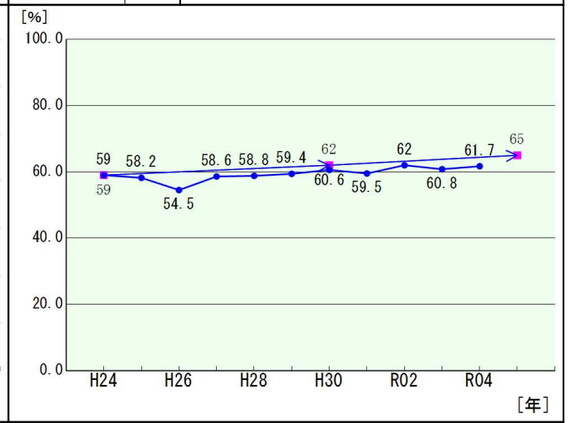
指標	0016	地域の人で学校教育に関わった人の数
方向性	↗	



対基準値:767人減／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-62.6%
要因:新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、地域住民の活動を縮小・中止したことによる減少と考えるが、徐々に回復してきている。

指標の推移　対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善

指標	0017	子どもの教育について学校、家庭、地域の連携が十分にできていると思う人の割合
方向性	↗	



対基準値:2.7ポイント増／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:45.0%
年齢別:差異有、職業別:差異有、学区別:差異有
要因:学校と地域をつなげる事業の実施により、学校活動への理解が進んでいる。

指標の推移　対基準値 → 改善　対前年度 → 改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「学校教育に関わった人の数」は基準値から767人減少しているが、前年度から317人増加している。新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため関連事業が縮小等をしていたが、徐々に実施できるようになり回復してきたものと考える。「連携が十分にできていると思う人の割合」は基準値から2.7ポイント増加している。学校支援協議会の活動や、子ども教室等の実施により学校と家庭や地域との連携への理解が進んだものと考える。
今後も、学校と家庭や地域をつなげる事業の実施や、コミュニティ・スクールの検討を進め、地域で子どもの成長を支える意識の向上に向けて取り組んでいく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	地域に開かれた学校をつくる	横ばい		1111	学校支援協議会の活動者数	改善	改善
				1112	学校に愛着を持っている人の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる	横ばい		1121	地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合	悪化	悪化
				1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(5)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	地域に開かれた学校をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
施策	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	
単位施策主管課	学校教育課		

成果指標

指標番号	1111	学校支援協議会の活動者数				指標番号	1112	学校に愛着を持っている人の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		5,208	5,990	6,677	6,889	%		65.6	69.4	68.0	66.3
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	2	
次年度方向性	維持	2	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「学校支援協議会の活動者数」は、基準値から1,681人増加している。新型コロナウイルス感染症の影響により、令和2年度で大きく下がったものの、順調に回復しているものと考える。「学校に愛着をもっている人の割合」は基準値より0.7ポイント増加しており、全校で実施している学校評価事業や小学校に設置した学校支援協議会による花壇整備や読み聞かせ等のボランティア活動などを通じて、地域や保護者と連携した学校運営を進めてきた成果と考える。
引き続き、地域と学校が連携して地域全体で学校教育を支援するとともに、学校の活動を発信していくことで、市民が学校に愛着を持つことができるよう取り組んでいく。

成果動向	○順調　●横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1037	学校評価事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1052	学校支援協議会設置事業	学校教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	笑顔と愛にあふれる子どもを地域の連携で育てる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
施策	11	学校、家庭、地域が連携して子どもの健全な成長を支える	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1121	地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合				指標番号	1122	地域で行われる異年齢交流事業の参加者数			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		50.7	58.3	55.9	46.0	人/年		1,344	215	659	2,352
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	5	遅延あり	0
成果状況	向上	0	維持・横ばい	5	低下	0
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	4	なし	1
次年度方向性	維持	5	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「地域全体で子どもが育っていると感じている人の割合」は、基準値から4.7ポイント低下している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響により、ＰＴＡ活動始め地域行事が一部中止・規模縮小等したためと推測される。また、「地域で行われる異年齢交流事業の参加者数」は、基準値から1,008人増加している。これは、ふれあい交流推進事業において、あいさつ運動や環境整備活動など、参加者が気軽に参加できる活動が実施できたためと考える。
今後も、異年齢交流を推進する事業の取り組みを継続するとともに、こども教室等の周知や、地域全体で子どもの健全な成長を支える事業を実施していく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1136	小中学校ＰＴＡ活動事業費補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1145	ふれあい交流推進事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
3	2544	学習支援教室開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
4	1161	子ども教室開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
5	2239	ものづくり子ども教室開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

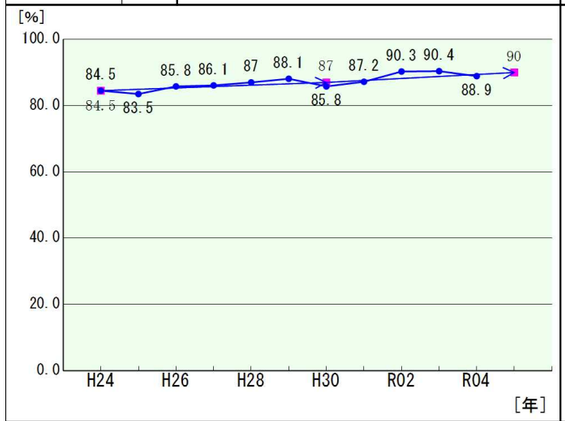
施策 12 青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	青少年が地域や社会のなかで健全に成長している		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標

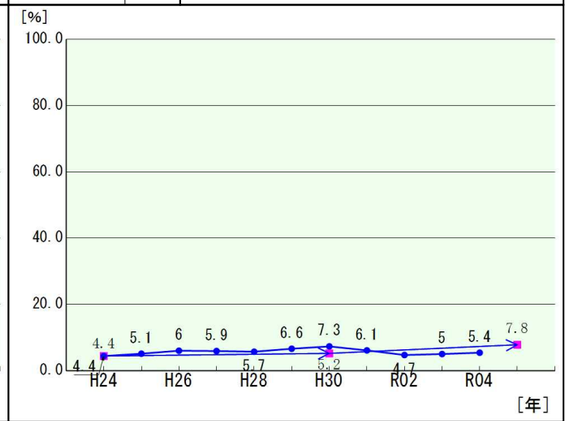
指標	0018	家庭で安らいでいると感じている青少年の割合
方向性	→	



対基準値:4.4ポイント増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:80.0%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:市内小中学校での出前教室の効果と想定。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 悪化

指標	0019	青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合
方向性	→	



対基準値:1.0ポイント増／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:29.4%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:街頭パトロール活動の推進により微増していると想定。地域との関わりが強い自営業が高い。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 改善

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調と評価する。
「家庭で安らいでいると感じている青少年の割合」は対基準値で4.4ポイント向上している。これは、家庭内等でのスマホ等によるトラブル防止に関する市内小学校への出前教室や保護者向け啓発チラシの配布により児童生徒がトラブル回避できている効果と考える。「青少年の健全育成のための活動に関わった人の割合」は対基準値で1.0ポイント向上している。これは、地域住民と連携し、街頭パトロール活動を推進できたことによるものと考える。
今後も、関係機関や地域との連携を深め、地域で青少年の健全育成及び非行防止の啓発を行っていく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	青少年が活躍する場をつくる	順調		1211	スポーツ、文化、ボランティアなどの各種団体に所属している青少年の割合	改善	改善
				1212	夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	青少年の非行を防止する	順調		1221	青少年の犯罪件数	改善	悪化
				1222	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合	改善	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	青少年が活躍する場をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1211	スポーツ、文化、ボランティアなどの各種団体に所属している青少年の割合			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		23.6	27.3	24.8	25.6
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			

指標番号	1212	夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合			
方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04
%		66.2	71.8	73.5	73.0
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			

指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

指標番号					
方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0
成果状況	向上	0	維持・横ばい	3	低下	0
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	2	なし	1
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「スポーツなどの各種団体に所属している青少年の割合」は、基準値から2.0ポイント向上している。その理由としては、スポーツ等各種団体の活動が魅力的で、学生を中心に所属が多いことが要因と考える。「夢や希望を持って活動・行動している青少年の割合」は、基準値から6.8ポイント向上している。これは、２０歳の集い実行委員会など様々な活動を通じて青少年が活躍できる環境を形成してきたためと考える。
今後も引き続き、青少年が活躍できる環境を維持し、青少年の健全育成に取り組んでいく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1141	20歳の集い開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
2	2917	ボーイ・ガールスカウト活動補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	2918	少年少女発明クラブ活動補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	青少年の非行を防止する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	12	青少年が健全で心豊かに成長できる環境をつくる	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1221	青少年の犯罪件数				指標番号	1222	困った時に悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合			
方向性	↘					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		54	21	11	19	%		81.3	87.0	87.5	84.0
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	1	なし	1	
次年度方向性	維持	2	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「青少年の犯罪件数」は、基準値から35件改善している。その理由としては、青少年育成センターにおける非行防止啓発、パトロールの成果と考える。「困った時に悩みを相談できる人が身近にいる青少年の割合」は、基準値から2.7ポイント向上している。その理由としては、青少年居場所づくり推進事業等により青少年と大人が交流できる環境を整えてきた成果と考える。
今後も引き続き、青少年が大人とふれあえる機会を維持し、青少年の非行防止に取り組んでいく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	2919	青少年育成センター設置事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
2	2920	青少年居場所づくり推進事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

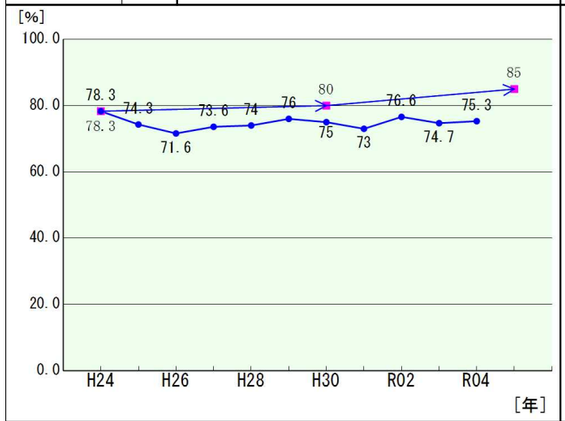
施策 13 マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
めざすまちの姿	正しいマナーを子どもが身につけており、その習慣が次世代にも継承されている		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標

指標	0020	この1年で人に親切にしたことのある人の割合	指標	
方向性	→		方向性	



対基準値:3.0ポイント減／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-44.8%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:地域における人間関係の希薄化が原因と想定。学生等社会との関わりが多い世代、職業が高い。

指標の推移	対基準値 → 悪化　　対前年度 → 改善	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、順調でないと評価する。
まちづくり指標は、対基準値で3.0ポイント低下している。年齢別にみると、10代が最も高く、年齢が上がるにつれて低下する傾向から、学校や家庭等で人に親切にすることを教えられたことが、年齢を重ねることで希薄化していることが要因と考える。
今後は、家庭内等で親子の会話やふれあいを増進できる方法等を伝え、保護者が子どもへの関わり方等を身につけるとともに、保護者自身もマナーや思いやりの大切さを再確認できる機会の提供に努めていく必要がある。

成果動向	○順調　　○横ばい　　●順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向		成果指標の名称		対基準値	対前年度
01	子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる	順調でない		1311	ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合	悪化	改善
				1312	ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(0)				
		低下	(0)				
02	思いやりに感謝し親切にできる地域をつくる	順調でない		1321	この１か月で地域の人とあいさつや会話をしたことのある人の割合	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(2)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	子どもが社会性を身につけ思いやる心を育てる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
施策	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1311	ボランティア活動に参加したことのある児童生徒の割合				指標番号	1312	ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		55.6	23.5	28.3	34.5	%		53.9	45.8	41.6	43.0
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	0	遅延あり	0		
成果状況	向上	0	維持・横ばい	0	低下	0		
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	0		
次年度方向性	維持	0	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「ボランティア活動参加児童生徒の割合」は基準値から21.1ポイント低下している。これは、回復基調にあるものの、新型コロナウイルス感染症の影響により中止となったボランティア活動が多かったことが要因と考える。「ルールを守っていない子どもに注意をしたことのある人の割合」は、基準値から10.9ポイント低下している。これは、近年会社員等地域から離れる時間が長い人が増えており、地域の子どもに関わる時間が短いことが要因と考える。
今後も、家庭、地域及び学校の連携を図り、ボランティア等地域活動の促進に努める必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	思いやりに感謝し親切にできる地域をつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	ふれあい
施策	13	マナーが守られ思いやりにあふれる地域をつくる	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1321	この 1か月で地域の人とあいさつや会話をしたことのある人の割合				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		90.6	88.1	88.7	87.7						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	2	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	2	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	2	
次年度方向性	維持	2	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
「この１か月で地域の人とあいさつや会話をしたことのある人の割合」は基準値から2.9ポイント低下している。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で地域活動等が減少したことにより、地域との関わりが減ったことが要因と考える。また、年齢別では20歳代、職業別では会社員・公務員、学生を中心に、仕事などで地域と関わる時間が減少していることも要因と考える。
今後は、地域と連携を図り、地域活動を若い世代や会社員等も参加しやすい開催方法に見直すなど、地域との関わりを持つ機会を増やせるよう努めていく必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	2175	家庭教育支援事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	2915	家庭教育シンポジウム開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

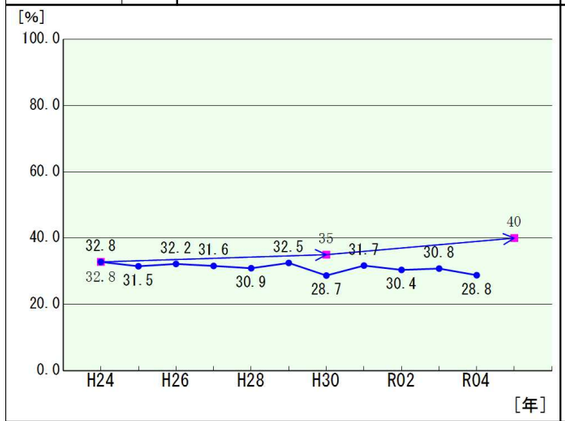
施策 14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	楽しみや生きがいを感じて学習や余暇活動に取り組んでいる		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標

指標	0021	生涯学習を行っている人の割合	指標	
方向性	→		方向性	



対基準値:4.0ポイント減／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:-55.6%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:市民の学習時間の制約が要因と考える。学生など比較的時間に余裕のある世代や職業は高い。

指標の推移	対基準値 → 悪化　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、対前年度で4.0ポイント低下している。これは、20歳代から50歳代の就業世代において、限られた余暇時間の中で、生涯学習活動に興味・関心が向きにくいこと、また、自主サークルの参加者の高齢化等に伴う活動規模の縮小などが要因と考える。
今後は、地域や職域におけるニーズを踏まえた講座の企画や内容等の検討を進め、就業世代の生涯学習意欲を醸成するための取り組みが必要である。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	学び教え合う学習活動を充実させる	横ばい		1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数	悪化	改善
				1412	自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことのある人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(14)				
		低下	(0)				
02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす	横ばい		1421	中央・横須賀図書館の貸出冊数	悪化	悪化
				1422	１か月間の児童生徒の読書量	悪化	改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(6)				
		低下	(1)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	学び教え合う学習活動を充実させる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる		
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1411	生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数				指標番号	1412	自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことのある人の割合			
方向性	→					方向性	→				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		438,673	202,256	258,483	299,676	%		41.5	39.9	42.1	42.3
指標の推移		対基準値 → 悪化		対前年度 → 改善		指標の推移		対基準値 → 改善		対前年度 → 改善	
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	15	遅延あり	0
成果状況	向上	1	維持・横ばい	14	低下	0
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	4	なし	11
次年度方向性	維持	10	見直し	0	休廃止	2	完了	3

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「生涯学習活動で公民館、市民館などの利用者数」は、基準値から138,997人低下しているものの、前年度から41,193人向上しており、感染症対策を十分に講じた中で少しずつ活動が再開されてきていることが要因と考える。「自分の趣味や特技を日常生活のなかで生かしたことのある人の割合」は基準値から0.8ポイント向上している。この理由は、感染症対策を十分講じながら、発表等の機会を提供できたことが要因と考える。
今後は、地域住民の学習ニーズの把握に努め、ニーズに合った学習機会の提供と、自主的な学習活動がしやすい環境整備等に一層取り組んでいく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	3444	上野公民館ネットワーク環境整備事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了
2	1132	社会教育委員研修事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1134	全国大会等出場者激励事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	3207	創造活動・歴史文化交流施設開館準備事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	3279	創造活動・歴史文化交流施設ワークショップ開催事業	社会教育課	予定通り	向上	あり	維持
6	1173	高齢者大学開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	休廃止
7	1174	市民講座開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	休廃止
8	1177	地区公民館等管理運営経費	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
9	1179	地区公民館等活動推進事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
10	1180	公民館類似施設管理運営費補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
11	1183	地域サロンカフェ推進事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
12	1886	上野公民館ＷｉＦｉ環境整備事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了
13	2800	上野公民館屋上防水改修事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了
14	3024	文化センター解体事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
15	3144	創造活動・歴史文化交流施設整備事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	読書に親しみ楽しむ機会を増やす

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	14 楽しみや生きがいを感じるまちをつくる		
単位施策主管課	中央図書館		

成果指標

指標番号	1421	中央・横須賀図書館の貸出冊数				指標番号	1422	1か月間の児童生徒の読書量		
方向性	↗					方向性	↗			
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
冊/年		808,357	712,513	859,504	770,853	冊/人		6.18	4.99	4.12	4.38
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	9	遅延あり	0	
成果状況	向上	2	維持・横ばい	6	低下	1	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	2	なし	7	
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	0	完了 1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「中央・横須賀図書館の貸出冊数」は、基準値から37,504冊減少した。主な理由は、中央図書館が空調改修工事のため4か月間休館したことによるもので、中央図書館の前年度同期間の貸出冊数198,715冊に対し、対前年度で88,651冊減にとどまった。「１か月間の児童生徒の読書量」は、基準値から1.8ポイント低下したが、前年度からは0.26ポイント増加した。学年別では小学生の読書量が前年度から0.58ポイント増加しており、これは、学級文庫(わくわく文庫)の巡回回数を増加したためと考える。
今後も、両図書館の蔵書整備に加え、学校等と連携した事業の充実を図る必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1206	中央図書館管理運営経費	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1210	図書館蔵書整備事業	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	1213	読書感想文コンクール開催事業	中央図書館	予定通り	低下	あり	維持
4	1214	お話友の会開催事業	中央図書館	予定通り	向上	なし	維持
5	1216	読み聞かせボランティア講座開催事業	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	1217	子ども文庫（小学校）事業	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
7	1281	子ども司書体験講座開催事業	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
8	2329	横須賀図書館管理運営経費	中央図書館	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
9	3225	中央図書館ＷｉＦｉ環境整備事業	中央図書館	予定通り	向上	なし	完了

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

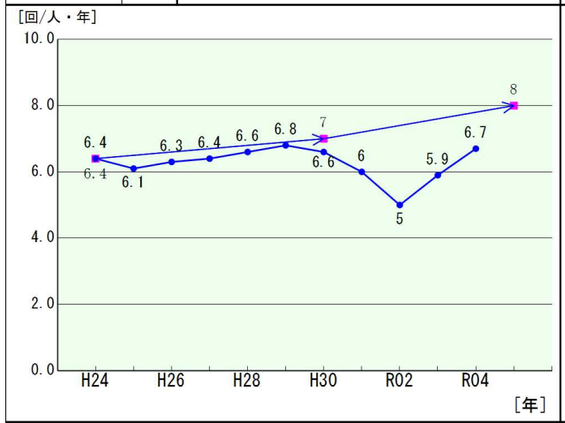
施策 15 だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	気軽にスポーツを楽しんでいる		
施策主管課	スポーツ課		

まちづくり指標

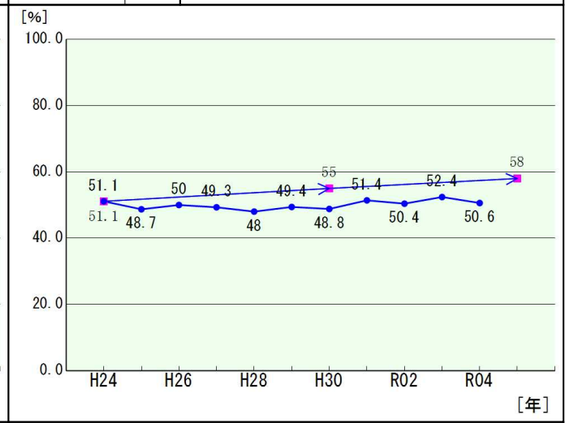
指標	0022	市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数
方向性	↗	



対基準値:0.3回増／基準値からの推移:○
10年後めざそう値達成率:18.8%
要因:新型コロナウイルス感染症による制限緩和が進み、利用者が少しずつ回復してきたもの。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 改善

指標	0023	スポーツを実践している人の割合
方向性	↗	



対基準値:0.5ポイント減／基準値からの推移:×
10年後めざそう値達成率:-7.2%
年齢別:差異有、職業別:差異無、地区別:差異無
要因:未だ新型コロナウイルス感染症による行動制限の影響が残っている。

指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「市民一人当たりのスポーツ施設の利用回数」は基準値から0.3回増加し、「スポーツを実践している人の割合」は基準値から0.5ポイント減少している。新型コロナウイルス感染症による制限緩和が進み、施設利用者は少しずつ回復してきたが、行動制限の影響は残っている。2つの指標は目標値に対し順調でないが、2つの単位施策が順調であることから横ばいと考える。
今後も、だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちとなるよう、スポーツを「する」「みる」「ささえる」視点での取り組みを進め、スポーツに関わる人を増やしていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向		成果指標の名称		対基準値	対前年度
01	スポーツに親しむ機会を提供する	順調		1511	この１か月でスポーツ活動をした人の割合	改善	悪化
				1512	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(5)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	スポーツで活躍する人を支援する	順調		1521	全国大会出場件数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(1)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	スポーツに親しむ機会を提供する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	
単位施策主管課	スポーツ課		

成果指標

指標番号	1511	この 1か月でスポーツ活動をした人の割合				指標番号	1512	スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
%		47.0	47.7	50.3	48.0	%		60.8	68.2	65.4	67.5
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 悪化				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	8	遅延あり	0	
成果状況	向上	5	維持・横ばい	3	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	1	なし	7	
次年度方向性	維持	6	見直し	0	休廃止	0	完了 2

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「この１か月でスポーツ活動をした人の割合」は、基準値から1.0ポイント向上、また「スポーツをしやすい環境が整っていると思う人の割合」は、基準値から6.7ポイント向上している。新型コロナウイルス感染症の影響はあるものの、東海ハーフマラソンを3年ぶりに開催できたことや市民体育館の外壁改修工事や柔道場の畳更新事業などを着実に実施し、スポーツに対する機運を高めることができたものと考える。
今後も東海ハーフマラソンをはじめ各種事業において、魅力ある事業内容を展開するとともに、スポーツ施設の改修を進め、スポーツに取り組みやすい環境整備に努めていく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1223	ニュースポーツ大会等開催事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	維持
2	1224	総合型地域スポーツクラブ補助事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	維持
3	1225	東海市ハーフマラソン開催補助事業	スポーツ課	予定通り	向上	あり	維持
4	1226	地域・生涯スポーツ推進活動事業	スポーツ課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
5	1670	シニア健康スポーツフェスティバル開催事業	スポーツ課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
6	2148	市民体育館柔道場畳更新事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	完了
7	3224	市民体育館Ｗｉ－Ｆ環境整備事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	完了
8	1430	市民体育館サブアリーナ空調機整備事業	スポーツ課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	スポーツで活躍する人を支援する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	15	だれもが気軽にスポーツを楽しむ元気なまちをつくる	
単位施策主管課	スポーツ課		

成果指標

指標番号	1521	全国大会出場件数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
件/年		129	65	162	212						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	3	遅延あり	0	
成果状況	向上	2	維持・横ばい	1	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	0	なし	3	
次年度方向性	維持	3	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標は、基準値から83件、前年度から50件増加しており、新型コロナウイルス感染症の影響による制限緩和が進み、徐々にスポーツ大会が開催されるようになってきたものと考える。また、ふるさと大使の企業スポーツチームと連携し、スポーツ出前授業や市民とふるさと大使が交流できるイベントを開催し、認知度を上げ、応援するとともに、市民のスポーツの機運を高めることができた。
今後もトップアスリートの試合観戦やスポーツ教室を実施するなど、世界や全国で活躍する選手を輩出できるよう支援していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1222	全国大会等出場者激励事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	維持
2	1229	愛知万博記念市町村対抗駅伝大会派遣事業	スポーツ課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
3	3232	ふるさと大使等スポーツ連携交流事業	スポーツ課	予定通り	向上	なし	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

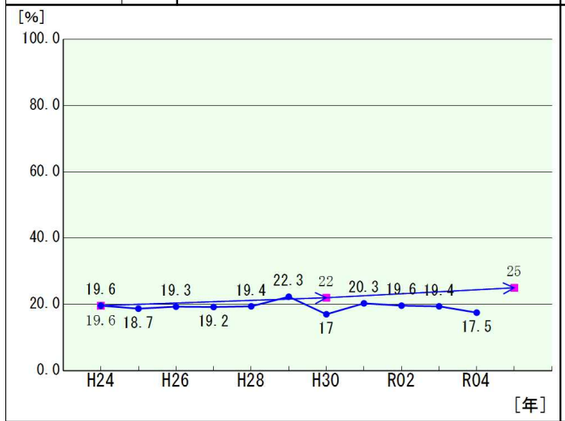
施策 16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
めざすまちの姿	文化に親しみ心豊かな生活を送っている		
施策主管課	文化芸術課		

まちづくり指標

指標	0024	文化・芸術活動を行っている人の割合	指標	
方向性	→		方向性	



対基準値:2.1ポイント減／基準値からの推移:×
10年後のめざそう値達成率:-38.9%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:自営業や学生など比較的時間に余裕があり文化芸術活動に触れる機会の多い人が高い。

指標の推移	対基準値 → 悪化　　対前年度 → 悪化	指標の推移	

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
まちづくり指標は、基準値から2.1ポイント減、前年度から1.9ポイント減となったが、芸術、劇場の開館等により、継続的に市民の文化芸術への関心が高まり事業参加者数も増えており、ほぼ横ばいの数値で推移している。また、成果指標は、催し物の開催数は基準値をやや下回ったが、「事業への参加者数」は増加し基準値を上回っている。特に、日常的に文化芸術に触れる機会が多いと考えられる世代や業種の方を中心に、比較的高水準で推移している。
今後も、市内各所で文化・芸術に触れあえる機会を提供し、気軽に体験できるワークショップ等の機会を増やすことで、文化・芸術に参加できる環境を整備していく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向			成果指標の名称	対基準値	対前年度
01	市民の文化芸術活動を支援する	横ばい		1611	個展・展覧会の催し物の開催数	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(3)				
		低下	(0)				
02	感動が生まれる文化芸術を提供する	順調		1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数	改善	改善
				1622	文化活動が盛んなまちだと思う人の割合	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(2)				
		維持 横ばい	(4)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	市民の文化芸術活動を支援する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	16 文化に親しみ心豊かなまちをつくる		
単位施策主管課	文化芸術課		

成果指標

指標番号	1611	個展・展覧会の催し物の開催数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
回/年		79	54	79	71						
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	1	予定通り	2	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	3	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	2	なし	1	
次年度方向性	維持	1	見直し	2	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、横ばいと評価する。
成果指標は、基準値と比べ減少している。その理由は、状況に応じた感染対策を講じながら展示会等を開催する施設等が増えたものの、新型コロナウイルス感染症による様々な規制が緩和され、学業等が活発化し、文化芸術活動に割く時間が減少したことによるものと考える。
今後も、市内各所で多くの人が作品の制作体験や鑑賞ができるよう、活動支援を続けていく。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1138	文化協会活動補助事業	文化芸術課	予定通り	維持・横ばい	あり	見直し
2	1144	文化祭開催補助事業	文化芸術課	予定通り	維持・横ばい	あり	見直し
3	2392	全国大会等出場者激励事業	文化芸術課	非常に順調	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	感動が生まれる文化芸術を提供する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	いきいき
施策	16	文化に親しみ心豊かなまちをつくる	
単位施策主管課	文化芸術課		

成果指標

指標番号	1621	市の文化施設で行われる文化・芸術事業への参加者数				指標番号	1622	文化活動が盛んなまちだと思う人の割合			
方向性	↗					方向性	↗				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人/年		23,597	46,435	74,007	101,289	%		53.6	61.8	60.2	60.4
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善			
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	2	予定通り	3	遅延あり	1	
成果状況	向上	2	維持・横ばい	4	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	5	なし	1	
次年度方向性	維持	6	見直し	0	休廃止	0	完了	0

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
「文化・芸術事業への参加者数」は、基準値から77,692人増加し、前年度からも27,282人増となった。その理由は、時期に応じた感染予防対策を講じつつ事業を実施したためと考える。
「文化活動が盛んなまちだと思う人の割合」は、対基準値で6.8ポイント増であり、前年度と比べると40代及び50代で増加している。その理由は、文化活動への関心は継続して高いが、学業等が活発化し、若い世代における文化芸術活動に割く時間が減少したためと考える。
今後は、市民が文化芸術に関心を持ち、触れ合える機会を提供できるよう、時期に応じた対策を講じながら、市内各所で文化芸術事業を開催し、施策を推進していく。

成果動向	●順調	○横ばい	○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1383	芸術劇場管理運営経費	管理課	非常に順調	向上	あり	維持
2	1384	芸術劇場自主文化（鑑賞・にぎわい）事業	文化芸術課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
3	2216	市民スタッフ育成事業	文化芸術課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
4	2386	芸術劇場自主文化（ひとづくり）事業	文化芸術課	非常に順調	維持・横ばい	あり	維持
5	2657	芸術劇場維持補修事業	管理課	遅延あり	維持・横ばい	あり	維持
6	2714	芸術劇場Ｗｉｔｈ Ｆ環境整備事業	管理課	予定通り	向上	あり	維持

東海市施策評価システム 施策評価表

出力日: 2023年6月16日

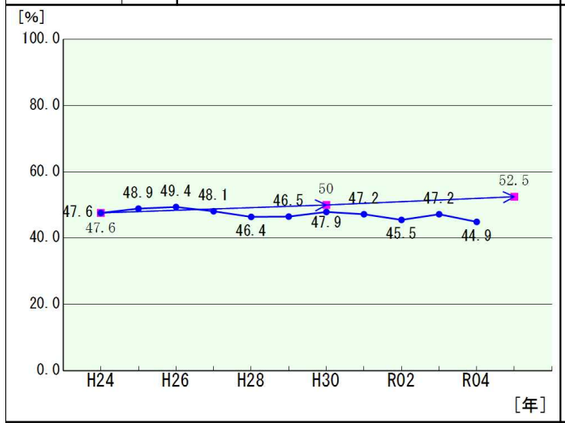
施策 17 郷土の歴史や文化を大切に継承する

体系

章	人づくり・心そだて	理念	活力
めざすまちの姿	地域の歴史や伝統文化が大切に守られ継承されている		
施策主管課	社会教育課		

まちづくり指標

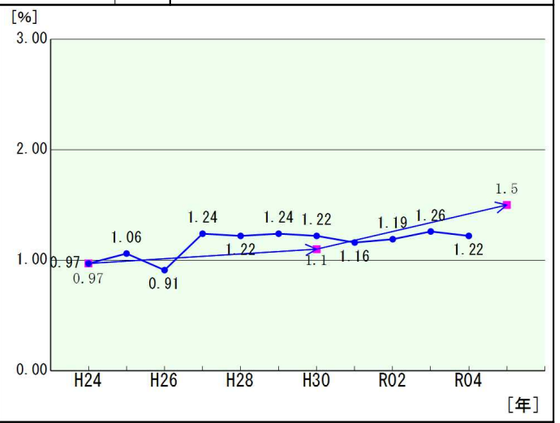
指標	0025	郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合
方向性	→	



対基準値:2.7ポイント減／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:-55.1%
年齢別:差異有、職業別:差異有、地区別:差異有
要因:若年層の郷土の歴史への興味低下が要因と考える。比較的時間に余裕のある世代、職業が高い。

指標の推移	対基準値 → 悪化	対前年度 → 悪化

指標	0026	１５歳～３０歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合
方向性	→	



対基準値:0.3ポイント増／基準値からの推移:△
10年後めざそう値達成率:47.2%
要因:地域の伝統文化団体が継承を意識した活動を実施してきた効果と考える。

指標の推移	対基準値 → 改善	対前年度 → 悪化

めざすまちの姿の実現に向けた達成度及び施策の評価(主要施策報告書記載用)

施策の成果動向は、横ばいと評価する。
「郷土の歴史などに愛着を持っている人の割合」は、対基準値で2.7ポイント低下しており、「15歳～30歳の若者のなかで、伝統文化を継承している団体に所属している人の割合」は対基準値で0.25ポイント向上している。これは、地域のまつり等伝統文化を継承する団体の積極的な活動等により、団体に所属する若者は増加しているものの、伝統文化や郷土の歴史等についての啓発が十分ではないことから愛着につながっていないと考える。
今後は、伝統文化や郷土の歴史等の啓発方法について検討し、郷土の歴史や文化の継承につなげていく必要がある。

成果動向	○順調	●横ばい	○順調でない

単位施策及び成果指標の動向等

	単位施策の名称	成果動向		成果指標の名称		対基準値	対前年度
01	伝統文化を大切に守る	順調		1711	伝統文化を継承している団体の会員数	改善	改善
	事務事業の成果状況	向上	(1)				
		維持 横ばい	(5)				
		低下	(1)				
02	郷土の歴史と文化に親しむ	順調でない		1721	市の歴史や伝統文化について知っている人の割合	悪化	悪化
	事務事業の成果状況	向上	(0)				
		維持 横ばい	(10)				
		低下	(0)				
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					
	事務事業の成果状況	向上					
		維持 横ばい					
		低下					

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	01	伝統文化を大切に守る

体系

章	人づくり・心そだて	理念	活力
施策	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1711	伝統文化を継承している団体の会員数				指標番号					
方向性	↗					方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
人		666	795	828	887						
指標の推移		対基準値 → 改善　対前年度 → 改善				指標の推移					
指標番号						指標番号					
方向性						方向性					
単位		基準値	R02	R03	R04	単位		基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移					

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	6	遅延あり	1	
成果状況	向上	1	維持・横ばい	5	低下	1	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	3	なし	4	
次年度方向性	維持	6	見直し	0	休廃止	0	完了	1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調と評価する。
成果指標は、基準値から221人向上している。その理由としては、各種団体が補助金等を活用し、伝統文化を継承するための活動へ積極的に取り組んでいることが要因と考える。
今後も、文化財等の維持管理に対する補助事業を活用した適切な保存や文化財等に触れ合う機会の提供により、文化財・伝統文化を継承していく環境づくりに取り組んでいく。

成果動向	●順調　○横ばい　○順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1137	民謡（踊）保存会活動補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
2	1139	盆踊り講習会開催事業	社会教育課	予定通り	向上	なし	維持
3	1164	指定文化財補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
4	1166	太田川駅周辺土地区画整理地内発掘調査事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	完了
5	3188	高ノ御前遺跡発掘調査事業	社会教育課	遅延あり	低下	なし	維持
6	3256	文化財普及啓発事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
7	1150	子ども芸能発表会開催事業	文化芸術課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持

東海市施策評価システム 単位施策評価表

出力日: 2023年6月16日

単位施策	02	郷土の歴史と文化に親しむ

体系

章	人づくり・心そだて	理念	活力
施策	17	郷土の歴史や文化を大切に継承する	
単位施策主管課	社会教育課		

成果指標

指標番号	1721	市の歴史や伝統文化について知っている人の割合				指標番号				
方向性	→					方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
%		76.1	69.2	69.3	65.1					
指標の推移		対基準値 → 悪化　対前年度 → 悪化				指標の推移				
指標番号						指標番号				
方向性						方向性				
単位		基準値	R02	R03	R04	単位	基準値	R02	R03	R04
指標の推移						指標の推移				

単位施策内の事業進捗状況(事業数)

活動進捗	非常に順調	0	予定通り	10	遅延あり	0	
成果状況	向上	0	維持・横ばい	10	低下	0	
次年度に向けての課題	あり（重大）	0	あり	6	なし	4	
次年度方向性	維持	8	見直し	0	休廃止	1	完了 1

単位施策の評価

単位施策の成果動向は、順調でないと評価する。
成果指標は、対基準値から11.0ポイント低下しており、年齢別では若年世代の割合が低い。その理由としては、平洲記念館等において各種啓発事業を実施しているが、高齢世代の講座等の受講者が多く、若年層世代の受講者が得られていないことが要因と考える。
今後は、歴史や伝統文化への関心が薄い若年層世代に対するＰＲ方法等の工夫を検討していく必要がある。

成果動向	○順調	○横ばい	●順調でない

単位施策内事務事業評価表（通常評価）

NO	キーコード	事業名	担当課	活動進捗	成果状況	次年度に向けての課題	次年度方向性
1	1149	嚶鳴協議会活動事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
2	2218	嚶鳴広場運営経費	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
3	2219	嚶鳴広場各種講座等開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
4	1413	横須賀文化の香るまちづくり事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
5	1687	平洲記念館等維持補修事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	維持
6	3187	平洲記念館・郷土資料館再整備検討事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	あり	休廃止
7	3241	平洲記念館ＷＩＦＩ環境整備事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	完了
8	1186	文化財購入事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
9	1187	平洲会補助事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持
10	1189	平洲記念館等各種講座開催事業	社会教育課	予定通り	維持・横ばい	なし	維持